

平成24年度江別市教育行政推進計画

【はじめに】

平成24年度の教育行政の推進に当たり、江別市教育委員会の基本的な考え方と主要な施策について申し上げます。

近年の教育を取り巻く諸情勢は、人口減少や高齢化、グローバル化、高度情報化など激変しており、円高傾向や産業構造の変化に伴い厳しさを増す経済、終身雇用・年功序列といった日本型雇用環境の変容、少子化による社会活力の低下、環境問題、人間関係の希薄化、規範意識の低下など、様々な課題が深刻化しています。

さらには、昨年の東日本大震災を契機として、「安全・安心の確保」が各分野で最重要課題となっており、学校教育施設や社会教育施設等の耐震化はもとより、自ら危険を予測し、回避する能力や、大きな困難に直面しても諦めることなく自ら考え行動する力、人々の絆の重要性など、教育の在り方についても、多くの教訓が得られたところです。

このような社会を生き抜くためには、様々な人々や自然とが共生していく必要があり、持続可能で活力ある社会を構築するための「自立、協働、創造」の理念のもと、個人や社会の多様性を尊重し、変化や創造を主導して社会を牽引できる人材の育成を基本的な方向性として、学習へのアクセス機会の確保や安全・安心で質の高い教育環境を整備、実現していくことが不可欠です。

とりわけ、江別市の未来を担う子どもたちが、困難に立ち向かい、次代に力強く踏み出す力を身に付けるには、自ら学び考え行動し、個性と創造力が豊かで、人間性と思いやりの心にあふれ、夢をしっかりと語り、夢の実現を目指して力一杯努力するなど、個人の幸福と同時に社会の形成者となる人格形成を目指した教育活動の充実が重要です。

同時に、豊かな長寿社会の実現には、年代にかかわらず生涯にわたる能動的な「学び」と、その成果の社会還元が可能な、活力あるコミュニティの形成を目指して生涯学習社会を実現していく必要があります。

教育は、社会全体の基本的な存立基盤であり、学校や保護者、地域住民、企業など社会の様々な構成員が課題認識を共有し、各ライフステージに応じた学習環境の整備に向け、それぞれの立場で協力・連携していくことが必要です。

教育委員会は、こうした認識のもと、目指すべき方向を見据え、第5次総合計画後期基本計画に掲げられた「子育て環境の充実」、「子どもの可能性を伸ばす教育の充実」、「生涯学習の充実」、「青少年健全育成の推進」、「ふるさと意識の醸成と地域文化の創造」、「市民スポーツ活動の充実」を基本とし、市長の政策に基づく『子どもを産み育てる環境が整う教育・文化のあふれる街「えべつ」』の実現に向け、教育関連施策の着実な推進に努めてまいります。

重点的事項といたしましては、まず、安全・安心な教育環境の実現に向け、「れんが造」校舎も含めた、小中学校の校舎屋体耐震化を進めるとともに、トイレやグラウンド、プール、暖房設備の改修など、学校施設の整備に努めてまいります。

次に、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着を図るため、ティーム・ティーチング等を行う「小中学校学習サポート事業」の拡充を図るとともに、少人数指導など、きめ細かな学習指導に引き続き取り組むほか、文化芸術等に秀でた社会人を講師とする「社会人による教育活動等支援事業」や、子どもたちの体力向上に向けた「児童生徒体力向上事業」、情報化の進展を踏まえた教育用パソコンの計画的更新による「情報教育推進事業」を推進いたします。

また、新学習指導要領の完全実施に当たりましては、小学校では、5～6年生の外国語活動必修化に伴い、外国人英語指導助手を派遣する「小学校外国語活動支援事業」により指導体制の充実を図り、中学校では、1～2年生の武道必修化に伴う武道用具等の備品と教師用指導書等を整備いたします。

新年度からの市立全小中学校での二学期制実施に当たりましては、これを機に、学校生活が一層充実し、児童生徒の生活リズムの定着が図られるよう、学校教育と家庭教育への支援に努めてまいります。

「学校図書館事業」や「子どものための読書環境整備事業」では、児童生徒用図書 の蔵書率向上と書架の整備を進め、学校図書館の活性化、機能強化のため、情報図書

館から学校図書館への司書派遣など支援を継続いたします。

特別支援教育では、特別支援学級設置校の増加に伴い「特別支援学級生活介助事業」や「特別支援教育推進事業」による、特別支援教育コーディネーター・特別支援学級生活介助員・特別支援教育補助員の実情に即した配置や、教員・保護者等への研修会を開催するほか、専門家チームによる巡回相談など必要な支援を行ってまいります。

また、児童生徒数が減少する中、学校規模を適正化し、良好な教育環境を確保する「学校適正配置推進事業」に引き続き取り組み、江別小学校と江別第三小学校の統合について、統合委員会の協議を踏まえ、施設整備基本構想の策定を進めてまいります。

不登校児童生徒への支援策としては「悩みを抱える児童生徒への支援事業」や「スクールソーシャルワーカー事業」により、スクールカウンセラー等専門職の配置など諸対応を継続いたします。

次に、生涯学習、社会教育では、市民ニーズの多様化や年代・年齢層に応じた学習機会を幅広く提供する各種事業に取り組むほか、芸術文化活動やスポーツ活動に取り組む市民を支援するため、各関連機関・団体等との連携をより一層深め、関連事業の充実と活動環境の整備に努めます。

公民館や市民文化ホール、コミュニティセンター、体育館、屋外体育施設等については、市民ニーズの的確な把握と情報共有など、指定管理者との連携を通して、引き続き市民サービスの向上と管理運営の効率化、自主事業等の充実、利用促進等に努めてまいります。

特に、災害時の避難所ともなる市民体育館など社会体育施設については、学校施設同様に耐震診断を順次進め、災害時における学校教育の早期再開も視野に入れ、防災関係部署と連携して、必要な耐震整備を進めてまいります。

また、セラミックアートセンターについては、屋上の防水改修工事を行い、昨年度に行った企画展示室の改修整備を契機として、市民の幅広い芸術文化や生涯学習活動の新たな拠点としての利活用促進に努めます。

これらの施策に関する主な事業は、次に記載のとおりです。

1 子育て環境の充実

少子化や核家族化、ライフスタイルの多様化などにより、世代間や地域のつながりが希薄化し、地域の子育て力が低下していることから、地域社会で安心して子育てができる仕組みづくりの一環として、幼児教育を受ける機会の充実を図るため、幼稚園就園奨励費補助や、私立幼稚園における特別支援教育への支援を継続します。

また、幼児や小学校低学年児に対する問題を共通課題として認識し、より良い教育を実践するため、江別市幼児教育推進協議会等の活用を図り、引き続き幼保小連携を進めてまいります。

- 幼稚園就園奨励費補助金の継続
- 私立幼稚園補助金の継続
- 幼保小連携事業の継続

2 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

学校教育では、学習内容の基礎・基本の確実な定着を基本に据え、きめ細かな教育の実践や、体験的学習などを通じた学習意欲の向上を図り、主体的に判断する能力など「生きる力」の育成に努めてまいります。

学校と家庭、地域との連携については、学校評価や学校一斉公開などにより、家庭や地域の要望を踏まえ、地域と一体となった、特色ある開かれた学校づくりを推進し、各校の具体的な教育計画や活動状況などを保護者や地域住民へ積極的に公開していきます。

また、ニートと呼ばれる若者の増加が深刻な社会問題となる中、働く意義や職業観を醸成するため、市内の民間企業や幼稚園、福祉施設等の事業所で職場体験学習を行う「キャリア教育推進事業」を引き続き実施いたします。

学校施設・設備の改修では、校舎屋体耐震化事業として、江別第二小学校の改築基本・実施設計、江別太小学校と江別第一中学校の改築基本設計等を進めるとともに、東野幌小学校のプール上屋塗装工事、江陽中学校のグラウンド暗渠管設置工事、大麻

東中学校の屋体暖房改修工事等を実施いたします。

私立学校については、各校の建学精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開され、教育の振興に貢献されていることから、特色ある教育が一層促進されるよう、引き続き支援してまいります。

食育の推進については、昨年12月に策定された「江別市食育推進計画」に基づき「規則正しい食習慣」などの食育推進目標を達成できるよう、栄養教諭による指導をはじめ、農業や流通、加工、販売等の体験・見学を通して食に関する知識の習得に努めるほか、学校給食に地場産の米や野菜など安心・安全・新鮮な食材を使用することにより、食への関心・理解を深めます。

また、親子が一緒に調理することにより、食の大切さを学び、感謝の気持ちを育てることをねらいとして、全校一斉「弁当の日」を設定いたします。

- 小中学校学習サポート事業の拡充
- 特別支援教育推進事業の継続
- 小学校外国語活動支援事業の継続
- 児童生徒体力向上事業の継続
- 子どものための読書環境整備事業の継続
- 小学校図書館活性化事業の実施
- 学校図書の計画的整備
- 社会人による教育活動等支援事業の継続
- キャリア教育推進事業の継続
- 特別支援学級生活介助事業の継続
- 地域一体型・学校の顔づくり事業の継続
- 教育用コンピューターの計画的整備
- 学校適正配置推進事業の継続
- 校舎屋体耐震化事業の実施
 - ・ 江別第二小学校改築基本設計・実施設計
 - ・ 江別太小学校改築基本設計

- ・ 江別第一中学校改築基本設計
- 学校施設整備事業の実施
 - ・ 東野幌小学校プール上屋塗装工事
 - ・ 江陽中学校グラウンド暗渠管設置工事
- 中学校大規模改造事業の実施
 - ・ 大麻東中学校屋体暖房改修工事
- 市内私立高校助成の継続
- 食育推進事業の実施
- 対雁調理場施設・設備整備事業の実施
 - ・ 対雁調理場冷房設備工事等

3 生涯学習の充実

市民の学習ニーズは、仕事と生活の調和促進など、社会の変化を基調として、心の豊かさや生きがいの希求、社会に活かせる新しい知識や技能の習得など、多種多様化しています。

これらに対応するためには、市内大学等の教育研究機関やその人材など、文教都市江別の知的資源の有効活用を図るとともに、効果的な学習機会の確保など、生涯学習の環境整備に努め、市民の学習意欲の高揚と主体的な学習活動への転換を図り、まちづくりの推進に反映していくことが大切です。

市民が、個人・団体を問わず様々な活動を通じて、主体的に学ぶ楽しさや感動、達成感を得られ、学んだ成果を地域へ還元することができることを目指し、公民館等を活用した生涯学習講座や、高齢者に配慮した講座の開催のほか、関係団体への支援・補助により、各種生涯学習事業及び社会教育事業を継続してまいります。

また、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境を作るため、地域や世代間のふれあい交流や、郷土の自然や生活体験等による学習活動など、学校と地域社会が協働して行う地域独自の取組に対し、積極的な支援に努めてまいります。

あわせて、地域で行う各種事業をサポートする指導者やボランティアの育成を図る

とともに、人材活用の仕組みや体制づくりに努めます。

情報図書館では、市民の生涯学習活動を支援するためのツールとして、図書・雑誌・視聴覚資料等の整備充実に努めるとともに、利用者の利便性の向上を図るためインターネット予約の普及を推進します。

また、「江別市子どもの読書活動推進計画」に基づき、大型絵本や紙芝居などを計画的に整備し、子どもたちの感性や情操を育むための本の読み聞かせ等のボランティア活動や乳幼児健診時における親と子の絵本事業等を支援するなど、子どもの読書環境の整備充実に努めてまいります。

- ふるさと江別塾「まちおこし市民大学講座」の開催
- 蒼樹大学・聚楽学園の運営及び生涯学習講座の開催
- 学社融合（地域間交流・体験活動）事業の推進
- 体験・ボランティア活動支援センター事業の推進
- 家庭教育（青空こどもの広場）事業の開催
- 公民館施設補修整備の実施
- 図書館資料整備事業の継続
- 江別市子どもの読書活動推進計画の推進
- 図書館設備等更新事業の継続

4 青少年健全育成の推進

青少年を巡る状況は、いじめ、不登校、引きこもり、少年犯罪の凶悪化など、様々な問題が発生し、深刻な社会問題となっています。

青少年が心身の発達に伴い悩み、葛藤しながらも、社会の担い手としての基盤を確立し、公共への参画を通して社会へ貢献できるよう成長し、それぞれの能力や適性に応じて活躍の場を広げていけることが必要です。

そのため、青少年にとって基本的な生活の場である家庭・学校・地域と連携し、青少年の主体性や社会性を育む、ボランティア・自然体験・社会体験など各種事業を推

進するほか、諸活動団体等への支援を通じて青少年の健全育成に努めます。

また、いじめや不登校、問題行動の早期発見・早期対応に努めるとともに、相談体制の充実を図り、悩みを抱える子どもたちや保護者へのきめ細かな支援を行います。

さらに、インターネット上のトラブルや有害情報から子どもたちを守るため、ネットパトロールや、子ども・保護者への啓発活動を行います。

- 子どもを見守る地域ふれあい事業の継続
- 子ども会育成事業の継続
- ジュニアリーダー養成事業の継続
- 青少年のための市民会議への支援継続
- 青少年キャンプ村事業の継続
- 中学生国際交流事業の継続
- 小中学生国内交流研修事業の継続
- 児童生徒健全育成事業（電話相談事業、いじめ・不登校対策事業）の継続
- 「心の教室」相談事業の継続
- スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー事業の継続
- 問題行動対策事業の継続
- 悩みを抱える児童生徒への支援事業の継続

5 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

文化は、心の醸成に大きな影響を与え、地域やそこに住む人々に固有の価値観や共通のよりどころとなる特有の風土を創造するもので、自発的・自主的な文化活動は、市民一人ひとりの個性を伸ばし、地域の特色づくりに重要な役割を果たすものです。

とりわけ、江別市の将来を担う子どもたちの豊かな心を育む環境を醸成することは重要であり、優れた芸術や伝統文化に触れる機会を拡充し、積極的に参加・体験できる場の充実を図る必要があります。

このため、ふるさと江別の歴史や文化の特徴を再認識し、「市民と共に創造する文

化活動」の充実に努め、「市民文化祭開催支援事業」や「芸術鑑賞招へい事業」、「市民芸術祭開催支援事業」の推進により、市民団体が主体的に行う舞台芸術や展示発表、次代を担う子どもたちを育む参加創造型の取組を支援するほか、文化活動を通じて地域社会と学校が一体となって青少年の健全育成を図る「子どもの文化活動育成事業(土曜広場)」を継続して実施します。

また、文化芸術活動の拠点である市民文化ホールの設備機器等を更新し、良好な施設環境づくりに努めます。

ふるさと江別の歴史や文化を理解することは、郷土を愛し、誇りを持って心豊かな生活をするにつながります。

その一環として、郷土資料館では、市民のふるさと学習を支援するため、常設展示の充実を図り、子どもたちや親子を対象とした体験学習プログラムを提供するとともに、文化財収蔵資料や市民から提供された生活民具などを展示公開するロビー展を開催します。

また、セラミックアートセンターでは、装いを新たにした企画展示室が広く市民に有効活用され、江別らしい芸術文化の創造と発信がなされるよう、市民の芸術文化活動の支援に努めるとともに、道内外の美術工芸作品の展示会開催など、優れた芸術文化の鑑賞機会を幅広く提供してまいります。

- 芸術鑑賞招へい事業の継続
- 市民芸術祭開催支援事業（まちかどコンサート等）の継続
- 子どもの文化活動育成事業（土曜広場）の継続
- 全国コンクール等への出場助成等、文化振興奨励事業の継続
- 市民文化ホール施設改修事業の継続
- 市指定無形文化財「野幌太々神楽」の保存・伝承活動への支援継続
- 文化財収蔵資料等（遺跡・遺物・生活民具）の展示公開と情報発信の継続
- 文化財施設整備事業の実施
 - ・ 野幌屯田兵第二中隊本部等の劣化等調査
- ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業（ふるさと歴史講座等）の継続

- セラミックアートセンター企画展開催事業の継続
 - ・「若林経子コレクションの美 オールドノリタケ」展
- セラミックアートセンター改修事業（屋上防水工事）の実施
- 陶芸文化普及振興事業（展覧会・各種陶芸教室）の継続
- 施設空間の活用など市民交流等のふれあい事業の支援の継続

6 市民スポーツ活動の充実

スポーツは、生涯にわたる心身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、特に、次代を担う青少年にとっては、体力向上はもとより、他者を尊重する精神や協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度を培うなど、人格の形成にも大きな影響を与えます。

また、人や地域の交流を促進し、地域の連帯感や活力を醸成するなど、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生にも寄与するものであり、活力ある長寿社会の形成に向けて、自発的かつ日常的にスポーツに親しみ、楽しむ機会の確保が求められています。

第4期江別市スポーツ振興計画では、「スポーツ活動を推進する組織、機関等との連携」、「生涯各期におけるスポーツ活動機会の提供・充実」、「いつまでもスポーツ活動を実践するための広報・啓発や場の提供」、「どこでもスポーツのできる施設環境、施設機能の充実と整備を推進し施設間の有効な活用の連携」の4つの重点目標を掲げています。

新年度も引き続き、スポーツ指導者の養成による指導体制の充実や、スポーツ選手の育成強化など競技力向上も含め、生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民スポーツ活動の環境整備や機会の充実に努めてまいります。

- 屋内・屋外体育施設管理運営事業の継続
- スポーツ大会等振興補助事業の継続
- 体育施設整備更新事業の継続
 - ・各種体育施設の整備更新

- ・ 市民体育館の耐震診断実施
- 体育施設開放事業の継続
 - ・ 学校プール開放事業
 - ・ 学校体育館土曜開放事業
- 社会人体育団体学校開放事業の継続
- 体育協会やスポーツ少年団への補助継続

【おわりに】

昨年は、東日本大震災による未曾有の甚大な被害により、かけがえのない命の尊さや、人と人との絆、支え助け合う心、力強い人間力といった、生きることの基本を再認識させられた年となりました。

私たちには、この貴重な教訓を今一度、しっかりと受け止めて、生きる喜びと明日への希望を支えとして、新しい歩みを進めることが求められています。

教育委員会といたしましては、江別市の未来を担う子どもたちが、夢を語り合い、その実現に向かって切磋琢磨し、心豊かにたくましく成長できることを願い、市民一人ひとりが生き生きと豊かな人生を送ることができるよう、江別市の教育政策の柱である「豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実」を着実に実現するべく、各種教育施策に全力で取り組んでまいります。

市民の皆様と議員各位の一層のご理解、ご協力を、心からお願い申し上げます。